

# THP養成コースを終えて -学びと感想-

---

名古屋大学大学院 博士課程前期課程2年  
看護学専攻 381001067 高橋はるか  
H24.3.11 第2回THP年次集会

# THP養成コース志望動機

---

- 「THP」に関する学びを深めたい  
→自身の専門性とのつながりは？
  - 専門職としての**視野・視点を広げる**
  - **多職種**の**専門性**に関する知識の習得
  - 病院から地域への**連携**の**重要性**の理解
-

# 多職種協働の重要性

---

- 少子高齢化社会が進行する近年  
→在宅ケアのニーズが高まってきている
  - 介護療養型施設の廃止や医療療養型施設の大幅削減 →「施設」から「在宅」への移行
  - 高齢者医療におけるcureからcareへの医療の変化
  - 在宅という専門職が集約していない場での療養生活を支える →多職種協働は必要不可欠
-

# 多職種協働に必要なこと

---

## □ 多領域の専門性の理解

→自身の専門性の再確認・確立

## □ 保健医療政策の最新情報の習得

→国・社会の政策も重要な情報源

## □ コミュニケーション・情報共有の充実

→複数の人に関わることでより強化

## □ コンサルテーションの周知と責任

→相談活動・契約責任

---

# 多職種模擬カンファレンスでの気付き

---

- 問題となる点と不足している情報の区別  
→ 情報や目標の共有・共通認識の必要性
  - 患者・家族の良い点・強みを見出す  
→ ケア・サービスの個別性につながりやすい
  - お互いを知ろうという姿勢を持つ
  - 多職種の専門性に関する無知さを痛感
  - 多職種チームが顔と顔でつながる機会となるため、チーム内の信頼関係が構築されやすい
-

# 多職種模擬カンファレンスでの学び

---

- 通じ合わない箇所は**妥協せずに**話し合う
  - 思ったことを理解しやすく説明する  
→ **図示化、フィードバック** 等
  - **対等な立場**で質問・議論等を行う
  - 情報の解釈の仕方を共有し、**共通認識を図る**
  - 結論よりも話し合いの**プロセス**が大切である
  - 多職種への視点の相違を説得させることは  
難しい → 特に**医師への説得**
-

# THPコースを通して感じたこと

---

## □ 看護・助産の専門性とは？

→自身の専門職としての未熟さ・無知さを実感

- ◎女性とその家族のすべてのライフサイクルにおける専門職
  - 連続性のあるケアの考案、提供
  - 患者・家族中心のケア考案、提供

## □ 専門性を再確認し多職種へ伝達する意味は？

- ◎自身の専門性の確立につながる
    - 専門性の発展にもつながる
-

# THPの役割

---

- 患者・家族に必要な**情報の提供**あるいは情報の**集約場所**
  - 患者・家族に必要なサービスのコーディネーターあるいは**調整役** → *全体像を客観視する*
  - 患者・家族の意向や思いの**代弁者**  
→ *‘真実を問う視点’を持ち、思いを共有する*
  - THPという職能に関する**知識の啓蒙**  
(医療者間・患者、家族間・地域内において)
-

# 周産期医療にフォーカスして

---

## □ 周産期医療問題の現状

◎少子化社会

◎産科医・助産師の不足

◎出産施設の減少 等

## □ 多職種連携・協働の充実

→産科医・小児科医・MSW・保健師・看護師・助産師 等

## □ 専門性の向上

→助産外来、病院から地域への連携（THPの設置等）、  
新生児訪問の充実 等

---

# 自身の今後の活動への示唆

---

- 自身の専門性を見直す・深める
  - カンファレンスの充実
    - 情報の共通理解・共有
    - 患者・家族の思い・真実を問う
  - 最新情報・知識の習得
    - 講演やライフトピア等への参加
    - THPという認識を維持できる環境の確保
-

# まとめ

---

- 臨床では接する機会の少ない専門職の方との交流を介して、**自身の専門性を見直す**ことができた
  - 一時点だけでなく、**連続性を考慮したケア**を考えるあるいはそのような視点を持つことができた
  - ‘患者・家族の思いを**共有する自分**’と‘全体像を**客観視する自分**’の両方を実感できた
  - 多職種協働・連携することの面白さと**重要性**を実感できた
-

★ご清聴ありがとうございました★

---

名古屋大学大学院 博士課程前期課程2年  
看護学専攻 381001067 高橋はるか  
H24.3.11 第2回THP年次集会